

4月号 防災屋さんのNewsLetter

その「防火管理者」、名前だけになっていませんか？ ～新年度、組織図と一緒に「安全のボタン」も繋ぎましょう～

4月、人事異動や新入社員の受け入れで、社内は活気にあふれていることと思います。しかし、業務の引き継ぎ書に「防火管理」の項目は入っているでしょうか。「前任者がやっていたから大丈夫」という思い込みは、有事の際、企業の信頼を根底から揺るがすリスクとなります。



■ 新年度にチェックすべき「3つのボタン」

1. 防火管理者の実態確認

異動により防火管理者が不在になっていませんか？選任届の変更手続きもお忘れなく。



2. 「新人さん」への安全教育

新入社員は消火器の場所も、避難経路も知りません。最初の研修で「命を守るルート」を教えることが、最強の福利厚生です。



3. 年度末の「名残」を撤去

3月の繁忙期に積み上げた書類や什器、廊下や防火戸の前に放置されていませんか？「一時的」な荷物が、火災時の「致命的な障害」に変わります。

「5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）」は、最高の防火対策です。

5Sが「最高の防火対策」である3つの理由

理由1. 火災の原因である「火種」を徹底的に排除できる

理由2. 燃え広がりを防ぎ、逃げ道を確保できる

理由3. 無理なく「安全配慮の目」を養うことができる



定期的な点検や5S活動を習慣化することで、全従業員が「火元責任者」としての意識を持ち、火災を未然に防ぐ体制が整います。

5Sの項目	防火における具体的な役割	期待できる効果
整理	不要な書類、ゴミ、可燃物の廃棄	燃えるものを減らし、火の勢を抑えることができる
整頓	避難経路・防火戸周辺の荷物撤去	逃げ遅れを防ぎ、煙の拡散を止めることができる
清掃	コンセント、配電盤、機器裏の除塵	トラッキングや粉塵爆発を防ぐことができる
清潔	異常（焦げ・異音・発熱）の早期発見	出火する前に火種を断つことができる
習慣	定期的な点検と従業員への注意喚起	人為的なミスによる火災をゼロに近づけることができる

火災による損失は計り知れませんが、対策の多くはそれほど費用のかからないものばかりです。今日から始める 5Sこそ、最もコストパフォーマンスの高い、企業の信頼を守るための防災投資なのです。



防火管理サポートサービス始めました！

防火管理の仕事は重要だけど、忙しさについつい後回しになりがちではないですか？そんな、防火管理者様のお仕事を代行します。詳しくは担当者へお問い合わせください。

防災備蓄は専門店で

災害対策本舗

